

呼吸障害を主訴とした新生児搬送の中で後搬送できた患者さんの関連因子を調査するため、当院に入院された患者さんの診療情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、当院倫理審査委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいようお願いいたします。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

1. 対象となる方

2019年4月1日から2024年3月31日までの期間に京都第一赤十字病院に新生児搬送された新生児のうち診療録の疾患名が新生児一過性多呼吸、気胸、新生児呼吸障害、胎便吸引症候群であった方

2. 研究課題名

当院に入院した新生児搬送症例の中で後搬送できた患者さんの関連因子について

3. 研究実施機関

京都第一赤十字病院新生児科

4. 本研究の意義、目的、方法

- 後搬送とは母親が出生産院を退院するまでに新生児搬送された児の呼吸、哺乳が問題ないことを確認できたうえで、出生産院に退院することです。これにより自宅退院する前に少しでも母児同室おこなうことができます。
- 新生児搬送は母児の愛着形成がうまくいかないことと関連があると報告されており、愛着形成をすすめるためにも可能な限り後搬送することに努めています。

- 本研究の目的は、産院で出生した呼吸障害のある患者さんを早期に NICU に搬送することで後搬送できるかどうか、またどのような因子が後搬送できた患者さんと関連があるかを調査することです。本研究は今後、新生児搬送されたお子さんのご両親へ説明を行っていく上で、有益な情報になると考えます。
- 呼吸障害のため新生児搬送により当院に入院した患者さんについて、診療内容の情報を電子カルテから収集いたします。

#### 5. 協力をお願いする内容

入院年月日、入院期間、性別、不妊治療の有無、母親が初産婦か経産婦か、帝王切開による分娩かどうか、在胎週数、出生体重、臍帯動脈血pH、アプガースコア1分値、5分値、出生時蘇生の有無、出生から当院入院までの時間、入院後どの程度呼吸補助を要したか（治療なし、酸素投与のみ、高流量鼻カヌラ酸素療法、子機吸気変換方式経鼻的持続陽圧呼吸法、人工呼吸管理）、後搬送できたかどうか。など、診療録に記載されている情報を提供いただきます。

#### 6. 本研究の調査実施期間

倫理審査委員会承認後～2025年3月31日

#### 7. プライバシーの保護について

本研究では、匿名化した患者様のデータを集計し、その数値を結果として発表する予定ですので、患者様個人の診療情報が発表されることはありませんし、また、患者様を特定できるような情報も含まれません。

#### 8. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

京都第一赤十字病院

新生児科 医長 宇都宮剛

連絡先：075-561-1121（代表）

E-mail: [takeshi-utsunomiya@kyoto1.jrc.or.jp](mailto:takeshi-utsunomiya@kyoto1.jrc.or.jp)

以上